

平成27年度 第1回名護市総合教育会議 議事録

| | |
|--------------------|--|
| 日 時 | 平成27年5月19日（火） 16:00～17:15 |
| 場 所 | 庁議室 |
| 出席者 | 稲嶺進市長 照屋厚委員長 大城千代子委員長職務代行者 太田一郎委員 宮城博委員 座間味法子教育長 |
| 事務局 | 中本正泰教育次長 荻堂盛邦（教）総務課長 宮里琢也（教）総務課総務係長 當山貴将（教）総務課総務係主事 |
| 関係部局 | 石川達義総務部長 山城実千代こども家庭部長 |
| 関係者 又は 学識経験者 | なし |

| 発言者 | 内容 |
|------|---|
| 稲嶺市長 | <p>はいさい。ぐすーよ。すっかり夏の気分でございます。しかし、待ってる雨はなかなか降らず、梅雨入りも奄美大島の方が先に梅雨入りしたことのようですが、昨日の報告によりますと、羽地ダムであるとかやんばるのダムは水位が半分くらいまで落ちているとの話がありまして、今年の夏は大丈夫なのかなという事が聞いておりますが、ちょっと心配な所ではございます。</p> <p>しかし、我が名護市の子供達が元気でたくましく育つための環境整備については、委員の皆様にはご苦勞をさせていただいております。</p> <p>最近特に、名護の子供たちは文武両道という面で非常にいい結果を出していて、私の方にもスポーツで言うと全国大会に派遣されるというお話など、たくさん報告させていただいております。</p> <p>教育委員会には先ほど言いました文武両道という形で施策を展開して頂いておりますけども、今回は第1回の名護市の総合教育会議、これは地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の4第1項の規定によって、今年から初めてそれが適用されるということで、今回その第1回目の会合が今日開催されることになりました。ご出席をいただきありがとうございます。</p> <p>私も1期目の就任以来、「子どもの瞳が輝くまち」ということと、「すべては子どもたちの未来のために」という事で教育に関する施策、あるいは子育てに関する施策というものに重きを置いて、これまでも進めてきたつもりでございます。そういう中で、教育委員会議は現場を指導する中、あるいはまた積極的に現場に立って頂いて、ご指導等を賜る中で、その政策も十分に浸透をしてきていると思っておりますし、同時に感謝申し上げたいと思っております。</p> <p>これまでも教育委員の皆様とは、不定期にお話しする機会もございましたけれども、今回のこの法律に則って行うというのは今回初めてでございます。これからも連携をさらに強くする中で、名護市の教育</p> |

| | |
|------------|---|
| | <p>の底辺から底上げをしていくための施策を共に展開してもらいたいと思いますので、これからもどうぞよろしくお願いしたいと思います。</p> <p>今日は、第1回という事で、また4月から委員長に照屋厚委員長が就任されたという事もありますので、皆様から自己紹介を頂きながら進めてまいりたいと思います。</p> <p>私の紹介については、すでに済んだという事にして、後はまたレジメに沿って進めさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。それでは委員長。</p> |
| 照屋委員長 | <p>4月21日付けで委員長という任命を受けて役割を担っているところでもあります。まだ少しそういう役割を十分果たしていないですが、一生懸命頑張っていきたいと思っています。</p> <p>それからこの総合教育会議においては、これまでの教育委員会議の中で、私達も研修等、少しずつ勉強をしながらやってきたところなので、ある程度の状況等については踏まえているところですが、まだ十分ではないという事もあるのではないかという風に思います。</p> <p>やはりこういう場で直接、市長のご意見あるいは考え方、そしてそれを教育委員会は受け止めて、そして子どもたちの為に、また具体的にどうしていったほうがいいのかという場を設けられることについては、私個人としては大変良い会議ではないかなと思っています。</p> <p>市長の件、それから事務局等の件、それから今日は総務部長、子ども家庭部長も来ておられますので、そういう人とまたもっとより詳しく連携が出来るのかなと思っています。私達もまたそういう勉強もしながら、子どもたちの為に頑張りたいと思っています。照屋厚、宜しくお願いします。</p> |
| 大城委員長職務代行者 | <p>こんにちは。同じく本年度委員長職務代行者となりました大城千代子と申します。委員長が長い挨拶をされたんですけども、全員同じ気持ちでいます。私も教育委員になって日は浅いんですけども、市長と直にこういうお話の場を今回の改革でできるという事は、私たちの意見も市長に分って頂けるし、また市長が改革をこういう風にやりたいという事も直に感じて、お互いに行動する手を取って行動できるいい場になるんじゃないかと思っていますので、一生懸命勉強させていただきたいと思っています。宜しくお願いします。</p> |
| 太田委員 | <p>こんにちは。PTAの代表ということで教育委員に推薦されまして、その時に話いただいたのが、市長から、PTAに関わっている委員が必要だという事で引き受けて、それから7年になりました。あっという間に年も取りましたので、そろそろまた別の世界に行きたいなと思うんですけど、やり残したのも少しあります。先ほど言われました文武両道の部分、子ども達やお父さん、お母さんからの色々な声を聴きながら、PTAの代表としてのやるべきことが、まだ残っているような感じがします。貢献できるよう、少しずつ少しずつみんながいいことに向けていければいいなと思います。</p> <p>教育委員会の中の教育委員というのは、必要ないと言えれば必要ないだろうという声が聞かれる中で、教育委員に必要性というのが出てくるように、さっき市長からありました、子ども達を中心にどれくらい</p> |

| | |
|--------|---|
| | <p>できるかといった形をまだまだ考えていかなければいけないと思っています。</p> <p>ぜひ名護市と教育委員会と、大綱の中で一つに頑張れるのがあれば、相談しながらやっていきたいなと思います。何を言っているのかよく分からない所もあり、いろいろ言う事もあると思いますけど宜しくお願いします。</p> |
| 宮城委員 | <p>こんにちは。教育委員の宮城です。普通の教育委員会委員会議の時は変わった雰囲気、今日初めてのお顔の方も居まして、金武町教育委員会からも来られているということで、すごく緊張しています。皆さんの模範になればなと思いますけど、どういう結果になるか分かりませんが、頑張っていきたいと思っています。</p> <p>それからこの総合教育会議というのは、沖縄県で初めてですかね？前聞いた時にその話を聞いたらほとんどの所がまだ決まってないと言っていて、その時僕が名護市は5月19日に行われますという話をしたら、みんな驚いた感じでしたので、多分、沖縄で初めてじゃないかなと思いますけど、どうぞよろしく宜しくお願いします。</p> |
| 座間味教育長 | <p>こんにちは。名護市教育委員会教育長座間味でございます。今年で3年を過ぎまして、もう3年半。任期まであと少しになりました。今回初めて法律に則って総合教育会議という正式な場で、市長と教育委員がひざを交えて協議調整する場が与えられたことを、非常に嬉しく思っております。</p> <p>これまでも重要な場面では、市長から助言も頂きながらやってきたわけですが、今回、このように改めて大綱の策定と、これからの方向性を協議調整する場という事で、いい制度にしていかなければいけないなと思っている所であります。</p> <p>昨今の教育課題というのは、教育委員会だけで解決できるものはほとんどなくて、やはり市長部局の福祉であるとか雇用であるとか、そういうところと連携を取っていかなければ、課題解決が非常に難しい多様化を呈していますので、そういう意味でもこの会議が子どもたちにとってより良い教育行政を推進するための会議にしたいものと思っております。今日はどうぞよろしくお願いいいたします。</p> |
| 稲嶺市長 | <p>どうもありがとうございました。皆様からお話がありましたように、「すべては子どもたちのために」というのが大前提でありますので、そのために方向性を共有して、いい施策が導入展開されるように、お互い頑張りましょう。</p> <p>この法律ができる時に、いろいろ意見がありまして、反対意見もたくさんありました。それは、市長が参加する、あるいは市長が主催し主導する会議、イコールこれは教育に対する政治の介入ではないかと言われていました。少なくともわが名護市では、このような心配がないようにやっていきたい。いわゆる一緒に、同じ土俵に立って、これからも教育行政が子どもたちの為に進められるようにしていきたいと思っております。</p> <p>それでは次の日程に進めさせていただきます。次は会議次第の第2の案総合教育会議について。すでにみなさんはいろいろ情報もお持ち</p> |

| | |
|-----------|---|
| | かと思えますけども、改めて確認をするという意味で事務局から説明を求めたいと思います。 |
| 事務局（次長） | 「資料1」説明 |
| 稲嶺市長 | <p>はいどうもありがとうございました。総合教育委員会議について説明がございました。ただいまの説明を聞いて、ご意見あるいは質問等がございましたらお願いします。</p> <p>何かありませんか。意見がありませんので、次に進めたいと思います。今回は議題が1つ準備されております。お手元にも資料として添付しておりますけども、議案の1「名護市教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱」の策定についてでございます。それでは事務局からの説明を求めます。</p> |
| 事務局（次長） | <p>「資料3」説明 「資料2」説明</p> <p>この大綱につきましては、後期の基本計画の中から、児童・子育て家庭への支援、以下、教育委員会の施策が並んでおります。その関係もございまして、本日は、山城子ども家庭部長にも参加を頂いているところでございます。山城部長から補足説明がございましたらお願いします。</p> |
| 山城子ども家庭部長 | <p>私の方からは、先ほど次長の方から話がありました3ページの児童・子育て家庭への支援ということでございます。今回平成27年度から国の子ども・子育て支援法という制度が施行されまして、その中において就学前の子どもの教育保育に関する支援策が充実するための施策展開が図られております。それを踏まえまして具体的な課題取り組みにも繋がっていきますので、後ほどこの課題についてはご覧いただきたいと思えます。以上です</p> |
| 稲嶺市長 | <p>今回の大綱については、先ほど説明の中でもありましたけども、第4次名護市総合計画後期基本計画の中に位置づけられているもの、そして第2次名護市教育振興基本計画の内容を踏まえて、今回の大綱案に反映されている事でございます。</p> <p>この案の内容については委員の皆さんもご案内のとおりだと思います。この中で例えば、後期基本計画の中で先ほどありましたように、政策があってそして施策が続いていきます。その施策には目指す方向と経緯、現状というものがあります。その後に具体的な取り組みというのも掲げられております。</p> <p>特に、後期基本計画を策定する時の特徴ですが、これは市民参加の下に計画を作ろうということで、それぞれの施策ごとに市民の声が取り上げられております。それら市民の声を拾い上げる中で、この後期基本計画が策定されてきたというようなことがございます。</p> <p>それから先ほど子ども家庭部長から説明がありました。これは教育の現場で求められている福祉であったり、地域づくりであったり、いろいろなものが教育現場で求められていることもあって、子ども家庭部長に補足の説明もして頂きました。これからも実際に具体的に組み込んでいくときは、お互い対等な執行機関同士ということも最初で確認をいたしましたので、その中で進められていくものと認識しており</p> |

| | |
|--------|--|
| | <p>ます。</p> <p>それでは今説明がありましたことについて、意見等があればお聞きしたいと思しますのでよろしくお願ひします。</p> |
| 照屋委員長 | <p>1 ページのところで重点プロジェクトとして学力向上推進、私達が目指している沖縄県 1 位の学力の高い地域を目指すという中で、関わりのある政策 1 それから政策 2 の施策が展開されています。</p> <p>今の状況の中で、平成 26 年度は沖縄県は小学校がずいぶん躍進しまして、中学校の方はまだまだですけど、重点的にやらなければいけないというところですよ。重点プロジェクトと掲げていますので、私達も教育委員会の中でしっかり行って、学校教育の中でやれる事はやっていきますが、やっぱり家庭や地域、そういうところでもそこを伸ばしていけないと、沖縄県 1 位の学力というのはすごい高い目標になってますので、今日来られている山城部長とその連携もやっていけるようになればいいのかなと思います。</p> |
| 座間味教育長 | <p>今の教育委員長のお話、沖縄県 1 位の学力を目指すという高い目標という事でしたが、実は第 4 次名護市総合計画後期基本計画を策定するにあたって、市民アンケート、市民懇話会において、市民と若手の役所の職員が共同でこのアンケートを分析し、そして研究協議して設定された目標であります。</p> <p>そういう事でありまして、先ほど市長もおっしゃったんですが、やはりここで改めてそれを認識するという事は、今学力の底上げというのが名護市にとって非常に大きな課題であるし、将来に渡ってでもありますが、今やっておかなければならない大きな課題だという風に受け止めなければいけないのではないかと感じております。そしてそれが地域住民の意向であると。その意向を私たち行政がしっかり受けとめて、施策として推進していくんだという共通認識をここで持つという事が、この会議の最も大きな意義だと思っております。</p> <p>そのため、事務局のすべて一人一人がそれを市民の思いと受け止めて、どのようにして実現していくのか、地道な計画と取り組みが求められていると思います。</p> |
| 中本次長 | <p>平成 26 年度からの学力向上推進施策パッケージという形で事業を総合的に組んで実行しているところであります。教育長がおっしゃったように、中身の精査をしていかないといけないということで、その作業も同時並行的にやっていきたいなと思っています。</p> <p>先ほど総合教育会議の所で説明させて頂きましたけども、大綱はどちらかという方向性を示すのが大綱で、具体的な事業の調整はおそらく次回は 10 月頃になると思うんですが、名護市の場合では実施計画という形で毎年翌年 3 年間の計画を部長会にプレゼンをして、そこで採択されるという方式を取っておりますので、10 月頃に平成 28 年、29 年、30 年の実施計画をあげていきたいと思ひます。</p> <p>それ以外に今の事業の進捗状況の確認であったり、また効果的に行われているかどうかということ事務局では精査できる所は精査して、実施計画に向けて平成 30 年には学力向上の効果が表れるように、そういう風な形をとっていきたい。いま沖縄県 1 位の学力という目標</p> |

| | |
|------|---|
| | を持って取り組んでいきたいと思っ |
| 稲嶺市長 | <p>先ほど学力向上推進施策パッケージの話が出てきましたが、これは沖縄県1位の学力を達成するためにはどうすればいいのか。要するに学校だけで頑張っても勝負できないでしょう。あるいは家庭が頑張るとい</p> <p>それを示すために教育委員会がそれぞれの役割などを明記して、それぞれがそれぞれの場所で頑張ろうという事ですね。そのことによって子どもたちの達成感というか、自信というか、あるいは自己肯定感</p> |
| 宮城委員 | <p>誠に素晴らしいことだと思いますし、政策の話も頑張っているとい</p> <p>それとあと1点。10ページの方なんですけども不登校児童生徒数が平成30年度までに33人となっていますよね。平成24年度が41人いたのが、平成30年度までの間にちょっとしか減らない、そういう目標にするのは、大綱として策定する数字としてはどうかなと思います。</p> |
| 中本次長 | <p>資料3の2ページ(3)の①その他の計画との関係というのがあります。4行目ですが当該計画をもって大綱に代える事と判断した場合に</p> <p>それと10ページの数値目標が平成30年度の目標が低めで、努力目標としては高く目標を持った方が</p> |
| 稲嶺市長 | 計画策定時点の数字がそのままここに記されていることでの |
| 太田委員 | 大変素晴らしい計画で、これから4年の歩みが見えてくるんですけども、この大綱を子どものいる家庭や地域などにどのように浸透させていくか。 |

| | |
|---------|--|
| | <p>のスポーツは、6時半には終わらずに徹底できていない。実際に上からは文武両道ということで、スポーツだけ頑張っているのは駄目だと言われているんですが、それを徹底させていくためには、親の気持ちを変えていかないといけない。また、親というのは地域にも関わるので、地域とか家庭を変えていかないと、学校と行政が進めていく中で問題が出てくると思う。</p> <p>この大綱が、目標だけで終わらないためにも、いかに周知徹底していくか。そして、文武両道については、指導している人や親などからやっていこうという意見がどんどんでくるようなアピールの仕方が良いなと思っています。</p> <p>そういうアピールができれば、大綱も生きてくるのかなと思いますのでその辺も提案しながらやっていきたいと思っています。</p> |
| 中本次長 | <p>先ほどから学力向上推進施策パッケージという話がありますが、その中で平成27年度から文武両道プロジェクトという放課後の小学生を対象にした補習の実施、また社会教育課のほうではスポーツの指導員への講習といった事業として始めます。</p> <p>太田委員がおっしゃった、それらの事業を行うことによってどういう効果が図られるのかということ、青少協を含め子どもたちに関わっていく方々や地域の方々との連携をより密にして、みんなが同じ方向に向かっていけるような体制を取り、連携をより深めていきたいと考えております。これはなかなか事業として表には出てこないですけども、そういう意識を持って委員会全体で取り組んでいきたいと考えております。</p> |
| 太田委員 | <p>何回かスポーツの指導者の集まりとか、そういうシンポジウムとかやってきましたよね。そういったものをおして、具体的に指導者の方の考え方が変わっていけば、一緒にいる保護者の考え方も変わってきて、スポーツだけでは世の中生きていけないよねという話が出てくると浸透が早いかもしれない。それについても、具体的に進めて頂きたい思います。</p> |
| 稲嶺市長 | <p>今意見のあった件につきましては、具体的な取り組みとしてはこれから展開していくという事で理解いただきたいと思います。</p> <p>他に意見のある方は。よろしいでしょうか。</p> <p>だいたい意見も出たようでございますので、提案された大綱については、原案のとおり承認されたという事でよろしいでしょうか。</p> |
| 委員 | はい（全員承認） |
| 稲嶺市長 | <p>ありがとうございます。承認を頂きましたので原案のとおりの大綱の策定を行います。今日の議題としては1件でございますので、審議事項についてはこれで終わりたいと思います。次は次回の開催について説明を求めます。</p> |
| 事務局（次長） | <p>それでは、先ほども申し上げましたが、次回は10月頃に開催させて頂きたいと思います。名護市の場合、6月頃から実施計画の取組が始まりまして、予算編成方針が10月の末日頃に策定されますので、その前段で平成27年度の施策についての協議をお願いしたいと思います。事前にご連絡をして内容についてもご説明差し上げたいと思います。</p> |

稲嶺市長

今説明がありましたように、予算編成方針が出て具体的な作業は10月ぐらいから始まりますので、予算の作業が始まる前にまたもう一度会議を持って確認をしながら進めてまいりたいと思いますのでよろしくお願いしたいと思います。それでは平成27年度第1回目の名護市総合教育会議を終了させていただきたいと思います。ご苦労様でした。